

# 会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	9月2日(土) ～3日(日)	第4回衛生工学研究討論会	北 海 道	8号2ページ参照
	10月19日(木) ～20日(金)	第14回海岸工学講演会	横 浜 市	8号3 ”
	10月25日(水) ～26日(木)	第9回地震工学研究発表会	土 木 学 会	8号5 ”
	11月21日(火) ～22日(水)	第2回土木計画学シンポジウム	同	8号7 ”
	11月21日(火) ～22日(水)	秋のエキスカッション	静 岡 県	8号2 ”
東北支部	11月10日(金)	支部設立30周年記念式典および記念講演会	仙 台 市	8号8 ”
関 東 支 部	8月28日(月)	映 画 会	宇 都 宮 市	8号9 ”
	10月12日(木) ～13日(金)	構造物の基礎に関する講習会	東 京	8号9 ”
	10月14日(土)	中央高速道路路見学会	神奈川県外	8号9 ”
	10月17日(火) ～18日(水)	新しい測定技術講習会	日本化学会	8号10 ”
中 部 支 部	9月29日(火) ～31日(木)	最近のシステム技術に関する講習会	名 古 屋 市	8号11 ”
	9月22日(金)	名四国道工事見学会	同	8号11 ”
	9月29日(金)	コンクリート標準示方書改訂にともなう講習会	同	8号10 ”
関 西 支 部	11月12日(日)	年次学術講演会	未 定	8号12 ”
西 部 支 部	8月24日(木)	夏 期 講 習 会	宮 崎 県	7号8 ”
	8月25日(金)	見 学 会	鹿 児 島 県	7号8 ”
そ の 他	8月22日(火) ～25日(金)	応力測定に関する講習会	名 古 屋 市	6号7 ”
	8月28日(月) ～29日(火)	高分子材料の強度に関する講習会	東 京	6号8 ”
	8月28日(日) ～9月1日(金)	第6回宅地造成技術講習会	東 京 京 都	7号4 ”
	9月8日(金) ～9日(土)	第11回回料材研究連合講演会	東 京	7号5 ”
	10月19日(木) ～20日(金)	第17回応用力学連合講演会	同	7号5 ”
	10月23日(月) ～24日(火)	第4回災害科学総合シンポジウム	北 海 道	7号6 ”
	11月28日(火) ～29日(水)	第2回岩の力学シンポジウム	東 京	6号6 ”
	11月29日(火)	第8回構造の軽量化に関するシンポジウム	同	7号4 ”
	12月1日(金)	薄板構造および立体構造に関する研究発表会	同	7号9 ”
	お知らせ	■第4回世界地震工学会議(4WCEE)論文募集について		
■第13回国際道路会議			7号9 ”	

## 第4回衛生工学研究討論会

◀ 9月2日(土)~3日(日) ▶

土木学会衛生工学委員会では恒例により標記討論会を下記により開催いたします。ふるって参加されますようご案内します。なお、今回は北海道大学衛生工学科設立10周年記念行事に付随して開催することを申し添えます。

1. 主催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1967年9月2日(土)、3日(日)の2日間
3. 会 場：北海道大学工学部B21 新館1階
4. 参加費：無 料
5. 講演論文集：参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布しますから希望者はお買求め下さい(1000円程度の見込み)。

### プ ロ グ ラ ム

(第1日)

- |             |  |                                   |
|-------------|--|-----------------------------------|
| 9.00~9.10   | 開 会 挨拶                                   | 衛生工学委員会委員長 板 倉 誠                  |
| 9.10~9.30   | (1) 活性汚泥濃度が酸素移動に及ぼす影響                    | 東京大学工学部 杉木昭典・松尾友矩・○桜井国俊           |
| 9.30~9.50   | (2) 酸素吸取に及ぼす MLSS 濃度の影響について              | 荏原インフィルコ 井出哲夫・○永松定祐               |
| 9.50~10.10  | (3) 活性汚泥法における酸素収支について                    | 京都大学工学部 合田 健・○宗宮 功                |
| 10.10~10.30 | (1)~(3) 討 議                              |                                   |
| 10.30~10.50 | (4) 活性汚泥法水処理プロセスの最適化(流入廃水と返送汚泥の曝気槽への分配法) | 京都大学工学部 高松武一郎・内藤正明・橋本伊織・李 錦榮      |
| 10.50~11.10 | (5) 活性汚泥法における基質添加と浄化速度                   | 京都大学工学部 合田 健                      |
| 11.10~11.30 | (6) 活性汚泥法における物質平衡                        | 公衆衛生院衛生工学部 南部 特 一                 |
| 11.30~11.50 | (7) FAS 法による工場廃水処理                       | 栗田工業総合研究所 加藤健司・○関川泰弘              |
| 11.50~12.20 | (4)~(7) 討 議                              |                                   |
| 12.20~13.20 | 昼 食・休 憩                                  |                                   |
| 13.20~13.40 | (8) 水保全計画からみた工業立地                        | 東京大学工学部 杉木昭典・松尾友矩・○田中和博           |
| 13.40~14.00 | (9) 流域都市の汚濁負荷配分について                      | 京都大学工学部 末石富太郎・労働省東京労働基準局 ○南本禎亮    |
| 14.00~14.20 | (10) 豊平川における水質変動と汚染因子について                | 北海道大学工学部 那須義和・江口静子                |
| 14.20~14.40 | (11) 石狩川上・中流部における汚濁許容負荷                  | 北海道大学工学部 ○神山桂一・丹保憲仁               |
| 14.40~15.00 | (12) 航空写真と模型実験による某湾汚染の予知実験               | 京都大学工学部 ○岩井重久・井上頼暉 京都大学防災研究所 樋口明生 |
| 15.00~15.30 | (8)~(12) 討 議                             |                                   |
| 15.30~15.40 | 休 憩                                      |                                   |
| 15.40~16.00 | (13) 環境基準設定についての衛生工学的考え方                 | 北海道大学工学部 井上力太・谷沢平八郎               |
| 16.00~16.20 | (14) 水俣病の本態についての考察                       | 東京大学工学部 宇井 純・神戸大学医学部 喜田村正次        |
| 16.20~16.40 | (15) 地域暖房と路線融雪の計画                        | 北海道大学工学部 射場本勘市郎                   |
| 16.40~17.00 | (16) フロックブランケットの除去効果                     | 北海道大学工学部 丹保憲仁・穂積 準・小俣勝邦           |
| 17.00~17.30 | (13)~(16) 討 議                            |                                   |

(第2日)

- |             |                           |                      |
|-------------|---------------------------|----------------------|
| 9.30~9.50   | (17) 散水ろ床法による溶解性物質の処理について | 東北大学工学部 松本順一郎・○長谷川信夫 |
| 9.50~10.10  | (18) 汚泥の管路流体に関する実験的研究     | 早稲田大学理工学部 遠藤郁夫・○鄭 俊錫 |
| 10.10~10.30 | (19) 嫌気性消化法の高率化に関する実験的研究  | 早稲田大学理工学部 ○遠藤郁夫・近藤千秋 |
| 10.30~10.50 | (20) 除害施設に関する実験的研究        | 建設省土木研究所 柏谷 衛・菅原正孝   |
| 10.50~11.20 | (21) バッチ燃焼式ごみ焼却炉の問題点      | 中央大学理工学部 内 藤 幸 穂     |
| 11.20~11.50 | (17)~(21) 討 議             |                      |
| 11.50~12.50 | 昼 食 休 憩                   |                      |
| 12.50~16.20 | 衛生工学に関するパネル討論会            |                      |
| 16.20~16.30 | 閉 会 挨拶                    |                      |

懇 親 会：第1日討論会終了後下記により懇親会を開催いたしますので参加希望者は当日会場でお申し込み下さい。

期 日：1967年9月2日(土) 18.30~20.00

会 場：クラーク会館大集会室(工学部から徒歩約5分)

会 費：1000円(当日会場にていただきます)

## 東名高速道路見学会—秋のエキスカ—

◀ 11月21日(火)~22日(水) ▶

関東支部と共催で、秋のエキスカ—として、工事最高潮の東名高速道路の見学を行ないます。絶好の機会ですから、ふるってご参加下さい。

1. 定 員：50名
2. 参加費：4000円(日程内の一切を含む)
2. 日 程：11月21日(火) 8.30 土木学会集合—多摩川橋—厚木インターチェンジ—酒匂川橋梁—富士川サービスエリア—三保の松原(三保園ホテル) 宿泊  
11月22日(水) 三保の松原—日本平—日本坂トンネル—袋井工区—浜名湖大橋—新幹線浜松駅前解散 16.40
4. 申 込 み：11月10日(金)までに参加費を添えて、土木学会総務課までお申込み下さい。

第14回海岸工学講演会

◀ 10月19日(木)~20日(金) ▶

第14回海岸工学講演会はずきの日程により横浜市において開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。なお、講演集はB5判活版印刷で目下編集中です。

1. 場 所：神奈川県農業会館（横浜市磯子区西町14番11号・電 横浜 76-3241）国鉄根岸駅下車徒歩3分  
 2. 講 演 会：1967年10月19日(木)~20日(金)  
 3. 講 演 題 目：

第1日・10月19日(木) 午前

- |              |  |                      |
|--------------|--|----------------------|
| 9.00~9.05    | 開会さいきつ                                 | 土木学会海岸工学委員会委員長 本 間 仁 |
| 9.05~9.20    | (1) 有限振幅波の Shoaling について               | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・酒井哲郎  |
| 9.20~9.35    | (2) Stokes 波とクノイド波の適用限界について            | 京都大学防災研究所 ○岩垣雄一・山口正隆 |
| 9.35~9.50    | (3) ラグランジュ風に解いた粘性流体の波動解                | 中央大学 首 藤 伸 夫         |
| 9.50~10.05   | (4) 波浪の予測フィルター・変換フィルターについて (1)         | 東京工業大学 日 野 幹 雄       |
| 10.05~10.25  | 討 議 (1)~(4)                            |                      |
| 10.25~10.35  | 休 憩                                    |                      |
| 10.35~10.50  | (5) 数値計算による台風域内の波の分布の推定法について           | 九州大学 ○井島武士・松尾幹彦・副島 毅 |
| 10.50~11.05  | (6) 波と風の相互作用に関する研究 (II)                | 九州大学応用力学研究所 光 易 恒    |
| 11.05~11.20  | (7) 粗な斜面からの反射に関する実験的研究                 | 大阪大学 室 田 明           |
| 11.20~11.35  | (8) 実験波の不規則性                           | 農林省農業土木試験場 前 田 清 康   |
| 11.35~11.55  | 討 議 (5)~(8)                            |                      |
| 11.55~13.30  | 昼食・休憩                                  |                      |
| 10月19日(木) 午後 |  |                      |
| 13.30~13.45  | (9) 海岸構造物不連続部の波高分布について (第2報)           | 徳島大学 三井 宏・村上仁士       |
| 13.45~14.00  | (10) 日本海沿岸の波について—レーダー観測による金沢海岸の波向について— |                      |

- |             |                          |  |
|-------------|--------------------------|--|
| 14.00~14.15 | (11) 小名浜港の風波について         | 運輸省第1港建 板尾純一・九州大学 井島武士・松尾隆彦・副島 毅<br>運輸省第2港建 ○内田則夫・斎藤幸義<br>KKトウジョウエージェンシーサービスセンター 東条定義・進藤 勉 |
| 14.15~14.30 | (12) 湘南海岸における風と波浪について    | 神奈川県企業庁総合開発局 広 田 純 也   |
| 14.30~14.45 | (13) 水位と波高の重ね合せに関する統計的研究 | 日本大学 久宝雅史・竹沢三雄・天野智雄  |
| 14.45~15.10 | 討 議 (9)~(13)             |  |
| 15.10~15.20 | 休 憩                      |  |
| 15.30~16.00 | 〔特別講演〕 東京湾の港湾について        | 運輸省第2港建局長 寺 西 弘 治  |
| 16.00~16.30 | 映画「題目未定」                 |  |

第2日・10月20日(金) 午前 第1会場

- |             |                                       |                          |
|-------------|---------------------------------------|--------------------------|
| 9.00~9.15   | (15) 底面及び側壁が直線的に変化する湾における長波の波高変化      | 神戸大学 杉本修一・国立明石工専 ○西村益夫   |
| 9.15~9.30   | (16) 枝分れのある湾の振動特性について                 | 東京大学 堀川清司・西村仁嗣           |
| 9.30~9.45   | (17) 大阪市内河川の高潮潮上に関する実験                | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・中村重久      |
| 9.45~10.00  | (18) 長波研究用造波装置の特性について                 | 東北大学 岩崎敏夫・楊 沢 民          |
| 10.00~10.20 | 討 議 (15)~(18)                         |                          |
| 10.20~10.30 | 休 憩                                   |                          |
| 10.30~10.45 | (19) 海岸堤防の越波に関する基礎的研究 (1)             | 東京工業大学 吉川秀夫・椎貝博美・河野二夫    |
| 10.45~11.00 | (20) 海岸護岸の越波に関する一実験                   | 東北大学 岩崎敏夫・沼田 淳           |
| 11.00~11.15 | (21) 不透過壁面の線形および透過斜面の空隙が越波量に及ぼす影響について | 中部工業大学 高 田 彰             |
| 11.15~11.30 | (22) 円弧型防潮水門に作用する波圧に関する実験             | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・井上雅夫・吉川昌宏 |
| 11.30~11.50 | 討 議 (19)~(22)                         |                          |
| 11.50~13.00 | 昼食・休憩                                 |                          |

10月20日(金) 午後 第1会場

- |             |                                      |  |
|-------------|--------------------------------------|--|
| 13.00~13.15 | (23) 棧橋に働く揚圧力に関する実験                  | 東京大学 堀川清司・中尾忠彦・矢島昭弘                    |
| 13.15~13.30 | (24) 波浪中の浮体の動揺による支持柱に働く衝撃圧に関する研究     | 大阪市立大学 ○永井荘七郎・小田一紀・日立造船KK 重藤宗之         |
| 13.30~13.45 | (25) 海岸堤防におけるアスファルト系被覆工に対する波力の影響について | 北海道大学 ○尾崎 晃・菅原照雄・荻谷広見                  |
| 13.45~14.00 | (26) 透過式潜堤に関する研究                     | 農林省 佐藤稔夫・三橋宏次・秦 英樹                     |
| 14.00~14.20 | 討 議 (23)~(26)                        |  |
| 14.20~14.30 | 休 憩                                  |  |
| 14.30~14.45 | (27) 透過性鋼管防波堤と底質の移動について              | 中央大学 ○林 泰造・大成建設KK 白井増次郎・中央大学 服部昌太郎     |
| 14.45~15.00 | (28) 遡上津波に対する防浪陸堤の効果に関する研究 (第2報)     | 東北大学 岩崎敏夫・富樫宏由                         |
| 15.00~15.15 | (29) 深い水深における消波堤に関する研究               | 大阪市立大学 永井荘七郎・大坪崇彦・遠藤正男                 |
| 15.15~15.30 | (30) 消波ブロックの水理的特性                    | 建設省土木研究所 富永正照・中央大学 首藤伸夫・建設省土木研究所 ○橋本 宏 |
| 15.30~15.45 | (31) 消波法覆ブロックに関する実験的考察               | 日本大学 久宝雅史・技研興業KK 多賀一允・日本大学 ○遠藤茂勝・大橋一彦  |
| 15.45~16.10 | 討 議 (27)~(31)                        |  |
| 16.10~16.29 | 休 憩                                  |  |

- 16.20~16.35 (32) 海岸保全計画の手法について 運輸省港湾局 堀口孝男・○奥山文雄・藤森研一  
 16.35~16.50 (33) 台風 26 号による吉原海岸の災害について 建設省土木研究所 ○富永正照・橋本 宏・中村 隆  
 16.50~17.00 討 議 (32)~(33)  
 17.00~17.05 閉会あいさつ 本 間 仁
- 第 2 日・10 月 20 日 (金) 午前 第 2 会場  
 9.00~ 9.15 (34) 密度流の問題 (2)—古典的理論の検討— 運輸省港湾技術研究所 浜 田 徳 一  
 9.15~ 9.30 (35) 河口密度流の解析 北海道大学 ○柏村正和・吉田静男  
 9.30~ 9.45 (36) 海面に噴出する油の非定常拡散 ○M.B. Abbott・中央大学 林 泰造  
 9.45~10.00 (37) 淡水境界面における乱流拡散の一実験 東北大学 岩崎敏夫・○阿都至雄  
 10.00~10.20 討 議 (34)~(37)  
 10.20~10.30 休 憩  
 10.30~10.45 (38) 石狩川河口の研究 (4) 北海道大学 福島久雄・八畷 功・高橋 将・柏村正和  
 10.45~11.00 (39) 二層流の風による混合に関する実験的研究 北海道大学 ○岸 力・加藤正進  
 11.00~11.15 (40) 深層取水の流れへの考察 (1) 日本原子力発電KK ○大西外明・東京工業大学 日野幹雄  
 11.15~11.30 (41) 冷却水深層取水工の設計に関する二、三の問題 電力中央研究所 千 秋 信 一  
 11.30~11.50 討 議 (38)~(41)  
 11.50~13.00 昼食・休憩
- 10 月 20 日 (金) 午後 第 2 会場  
 13.00~13.15 (42) 入江内における冷却水取放水の研究 (3) 電力中央研究所 和田 明・片野尚明  
 13.15~13.30 (43) 東京湾における汚染について 東京都立大学 半谷高久・運輸省第 2 港連 ○御座清泰・惣谷 実  
 13.30~13.45 (44) 下新川海岸における海底勾配と漂砂 建設省北陸地建 中川健三郎  
 13.45~14.00 (45) 高知海岸の漂砂について 高知大学 上 森 千 秋  
 14.00~14.20 討 議 (42)~(45)  
 14.20~14.30 休 憩  
 14.30~14.45 (46) 有明海浮泥の渦面変化への影響について 農林省農業土木試験場 満 田 雅 男  
 14.45~15.00 (47) 東京湾湾口 (富津崎) における漂砂について 運輸省第 2 港連 ○石上慎重・中橋 新・東京大学海洋研究所 奈須紀幸  
 15.00~15.15 (48) 天然放射能による漂砂源と方向の推定について 運輸省港湾技術研究所 佐藤昭二・○入江 功  
 15.15~15.30 (49) 波による底質の浮遊 京都大学防災研究所 野 田 英 明  
 15.30~15.50 討 議 (46)~(49)  
 15.50~16.00 休 憩  
 16.00~16.15 (50) 航空写真を用いての海崖の後退に関する研究 東京大学 堀川清司・○砂村継夫  
 16.15~16.30 (51) 堤防設置による海浜変形について 名古屋工業大学 細 井 正 延  
 16.30~16.45 (52) 海岸堤防基部の洗掘機構に関する研究 大阪大学 橋 木 亨  
 16.45~17.00 討 議 (50)~(52)

4. 見 学 会 : 1967 年 10 月 21 日 (土) 9.00~17.00

- (1) コ ー ス : 横浜駅東口集合 (9.00)—横浜港 (本牧埠頭)—根岸湾 (日本石油根岸精油所・石川島播磨造船所)—江ノ島 (湘南港)—横浜駅東口解散 (17.00)  
 (2) 参 加 費 : 500 円 (バス代および昼食代)  
 (3) 申 込 先 : 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会海岸工学講演会係 (参加者多数の場合は申込受付順といたします)

薄板構造および立体構造に関する研究発表会論文募集 ◀ 12 月 1 日 (金) ▶

(第 14 回橋梁・構造工学研究発表会)

今年度は下記により、標題の研究発表会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 期 日 : 1967 年 12 月 1 日 (金)
2. 共 催 : 日本学術会議構造工学研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
3. 会 場 : 土木学会土木図書館講堂
4. 募 集 規 定 :
  - (1) 論文内容 : プレートガーダー、箱げた、シェル構造など薄板構造、立体構造に関する理論相、実験的研究ならびに高層建物の立体解析、設計に関する研究を対象とします。
  - (2) 申込方法 : 9 月 9 日 (土) までに、論文題目、発表者氏名、勤務先および 100 字以内の論文梗概をそえて所属学会に申込んで下さい。採否は学術会議の上記研究連絡委員会におまかせ願います。採用のうちは 9 月 20 日までに講演原稿の提出方をお願いいたします。

## 第9回地震工学研究発表会

◀ 10月25日(水)～26日(木) ▶

標記研究発表会を下記により開催いたしますからご参加下さいませようご案内申し上げます。なお、今回は下記テーマによりパネル討論を行ないますのでふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年10月25日(水)、26日(木)の2日間

2. 会 場：土木学会土木図書館講堂

3. プログラム：

第1日・10月25日(水)

- |             |                                |                                |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 9.30～9.35   | 開会あいさつ                         | 土木学会耐震工学委員長 那 須 信 治            |
| 9.35～10.00  | (1) 松代地震における一、二の地盤震動観測結果       | 電力中央研究所 ○高橋 忠・堤 一・桜井彰雄         |
| 10.00～10.25 | (2) 落合橋における松代地震の強震観測結果         | 建設省土木研究所 栗林栄一・○岩崎敏男            |
| 10.25～10.50 | (3) 地中の地震観測について一信越本線筑摩川橋りょう付近一 | 国鉄鉄道技術研究所 藤 原 俊 郎              |
| 10.50～11.15 | (4) ラーメン架道橋の壁面に作用する地震時土圧の観測    | 国鉄構造物設計事務所 田村浩一・日本鉄道建設公団 ○清水影明 |
| 11.15～11.25 | 休 憩                            |                                |
| 11.25～12.15 | 〔特別講演〕 地震地帯におけるダムの建設について       | 東京大学教授 岡 本 舜 三                 |
| 12.15～13.15 | 昼 食                            |                                |
| 13.15～13.35 | (5) 地盤変形を考慮に入れた鋼管橋脚の地震応答計算図表   | 九州大学 小坪清真・○高西照彦                |
| 13.35～13.55 | (6) 斜組杭の地震時応力について              | 九州大学 小坪清真・○荒牧軍治                |
| 13.55～14.15 | (7) 松代地震における鋼管杭の地震応答観測結果       |                                |

- |             |  |   |
|-------------|--|---|
| 14.15～14.35 | (8) 松代地震による地中電線路埋設鋼管の地震応答観測結果          | 電力中央研究所 ○江刺靖行・高橋 忠・堤 一・中部電力KKK 松野久吉・長谷川幸雄 |
| 14.35～14.55 | (9) 松代地震による土の歪観測結果と地中埋設パイプラインの地震時の歪の推定 | 東京電力KKK 野口俊郎・○岩崎 透・電力中央研究所 高橋 忠・桜井彰雄      |
| 14.55～15.15 | (10) 松代地震による地中電線路埋設コンクリート管の地震応答観測結果    | 電力中央研究所 ○松井家孝・高橋 忠・中部電力KKK 松野久吉・長谷川幸雄     |

- |             |                               |                            |
|-------------|-------------------------------|----------------------------|
| 15.15～15.35 | (11) 発破地動による地中壁体の振動実験         | 東京工業大学 ○伯野元彦・鹿島建設KKK 野尻陽一  |
| 15.35～15.55 | (12) 軟弱地盤内における管道の動的挙動         | 東京大学 岡本舜三・○田村重四郎・加藤勝行・森地重暉 |
| 15.55～16.15 | (13) 斜組ぐい鋼管橋脚を有する道路橋の振動性状について | 神戸大学 畑 中 元 弘               |
| 16.15～16.25 | 休 憩                           |                            |
| 16.25～17.25 | 〔パネル討論〕 地下構造物の地震応答            |                            |

第2日・10月26日(木)

- |             |                                |                              |
|-------------|--------------------------------|------------------------------|
| 9.30～9.55   | (14) 架け違い箇所を有する連続線橋の動的解析について   | 東京大学 久保慶三郎・日本道路公団 笹戸松二・○武藤幸彦 |
| 9.55～10.20  | (15) ディヴィダーク橋の地震応答に及ぼす地動位相差の影響 | 九州大学 小坪清真・○原田謙二              |
| 10.20～10.45 | (16) 動的水平地盤反力に関する理論的ならびに実験的考察  | 九州大学 小坪清真・○花田和史              |
| 10.45～11.10 | (17) 剛体の震動特性に関する一、二の考察         | 東京電力KKK 小野 章・電力中央研究所 ○堤 一    |
| 11.10～11.20 | 休 憩                            |                              |
| 11.20～12.10 | 〔特別講演〕 松代地震の経過と背景一映画・地震予知への道一  | 東京大学教授 笠 原 慶 一               |
| 12.10～13.10 | 昼 食                            |                              |
| 13.10～13.35 | (18) 耐震設計用の地震波形に関する一考察         | 東京大学 金 井 清                   |
| 13.35～14.00 | (19) 将来の最大地震動の推定法について          | 京都大学 後藤尚男・○亀田弘行              |
| 14.00～14.25 | (20) 地震動のシミュレーションとその応用         | 京都大学 後藤尚男・○土岐憲三              |
| 14.25～14.50 | (21) 波動による地盤特性の一解析             | 電力中央研究所 堤 一・○佐藤孝雄・桜井彰雄       |
| 14.50～15.15 | (22) ケーソン基礎の浮上り振動について          |                              |

- |             |                         |                            |
|-------------|-------------------------|----------------------------|
| 15.15～15.25 | 休 憩                     |                            |
| 15.25～15.50 | (23) 飽和砂層の振動性状          | 運輸省港湾技術研究所 荒井秀夫・○梅原靖文      |
| 15.50～16.15 | (24) 軟弱地盤の振動性状について(第3報) | 東北大学 河上房義・浅田秋江             |
| 16.15～16.40 | (25) 盛土と斜面の震害について       | 国鉄鉄道技術研究所 小 林 芳 正          |
| 16.40～17.05 | (26) 地震はよる貯水の運動について     | 国鉄鉄道技術研究所 生 方 俊 夫          |
| 17.05～17.30 | (27) 高周波強震計の試作          | 建設省土木研究所 大久保忠良・明石製作所 ○後藤健一 |
| 17.30～17.35 | 閉会あいさつ                  | 那 須 信 治                    |

〔注〕第1日(10月25日)の午後以外の講演には5分の討議時間が含まれております。また、プログラムは都合により変更されることがありますのでご了承下さい。

4. 講演概要：B5判、オフセット印刷約120ページ、実費頒布(定価未定)

5. 懇 親 会：第1日(10月25日)の発表会終了後下記により懇親会を開催いたしますので、ご希望の方は当日会場受付にお申込下さい。

日 時：10月25日(水) 18.00 から

会 場：土木学会会議室

会 費：500円(当日受付可)

## 第2回岩の力学国内シンポジウム (1967) 参加募集

岩の力学国内シンポジウムは、1964年に第1回を開催し、所期の成果をあげることができましたが、前回に引続き第2回シンポジウムを下記により開催し、国内の岩盤力学研究者、技術者の研鑽と交流および研究情報交換とあわせて相互の親睦をはかることになりました。

つきましては、会員各位には下記要領により、ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

共催：土質工学会・日本鉱業会・日本材料学会・土木学会

1. 期 日：1967年11月28日(火)、29日(水)の2日間  
 2. 会 場：大和証券ホール(東京都千代田区大手町2の8 大和証券ビル8階)  
 国電東京駅八重洲北口下車徒歩3分、都電具服橋停留所前

3. 定 員：350名

4. 参 会 費：2000円(講演集代を含む)

5. プログラム：

第1日・11月28日(火)

- 9.15~9.25 開会あいさつ  
 9.25~9.50 A-1 泥岩の現位置試験に関する現地比較実験  
 9.50~10.15 A-2 軟岩の岩層と層位と地盤強度との関係について  
 10.15~10.40 A-3 炭層および上下盤岩石の現場的強度測定法  
 10.40~11.05 A-4 グム地点の地質分類と岩盤強度試験  
 11.05~11.20 B-1 シュミットテストハンマーによる岩塊の反ばつ度測定  
 11.20~11.35 B-2 川の岩量・岩質・破砕度の追求に対する地盤探査法の適用  
 11.35~12.00 討 議 (A-1~B-2)  
 12.00~13.00 昼 食  
 13.00~13.35 第1回国際岩盤力学学会報告  
 13.35~13.50 B-3 岩石強度の確率論理的考察  
 13.50~14.05 B-4 ひずみに立脚した脆性体の破壊論  
 14.05~14.20 B-5 三軸実験による岩石破壊の進行について  
 14.20~14.35 B-6 静荷重下における岩石の破壊条件  
 14.35~14.50 B-7 亀裂を含む岩盤の力学の性質とその動きについて  
 14.50~15.05 討 議 (B-3~B-7)  
 15.05~15.20 B-8 地下発電所用空洞の開削に伴う岩盤内緩み領域の逐次的発達への解析  
 15.20~15.35 B-9 非線型変形現象を考慮した岩盤の応力、変形および耐荷力の解析  
 15.35~15.50 B-10 有限要素法による岩盤力学問題の一計算例  
 15.50~16.05 B-11 岩盤斜面の変形と応力状態について  
 16.05~16.20 討 議 (B-8~B-11)  
 16.20~16.35 B-12 岩盤地帯における地震観測  
 16.35~16.50 B-13 高速ウォーカーゼットによる岩石の破壊について  
 16.50~17.05 討 議 (B-12~B-13)

注：Aは課題論文、Bは自由論文、○印は講演者です。

第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)運営委員会委員長 岡本舜三  
 国鉄鉄道技術研究所 室町忠彦  
 建設省土木研究所 芥川真知  
 石炭技術研究所 三吉一・藤原吉郎  
 建設省土木研究所 飯田隆一・岡本隆一  
 熊本大学工学部 ○井上正康・大見美智人  
 鹿島建設KK 渋谷長美・市川南・田村計・○雑喉謙・岡林信行

第2日：11月29日(水)

- 9.00~9.25 A-5 スムースプラスティングにおける破壊機構の一考察  
 9.25~9.50 A-6 スムースプラスティングによる岩盤の破壊とゆるみ  
 9.50~10.15 A-7 発破による岩盤のゆるみ  
 10.15~10.30 B-14 坑道発破の段階爆破と爆破振動について  
 10.30~10.45 B-15 大孔径ベンチカットにおける爆破時の振動について  
 10.45~11.00 B-16 坑道発破の完爆確認について  
 11.00~11.15 B-17 爆破による岩盤変動の電気的測定  
 11.15~11.30 B-18 発破による地盤および建物の振動  
 11.30~12.00 討 議 (A-5~B-18)  
 12.00~13.00 昼 食  
 13.00~13.25 A-8 応用測定による探掘の管理  
 13.25~13.50 A-9 土丹および第三紀層軟岩の調査および設計への結びつき  
 13.50~14.15 A-10 ディスクカッターによる岩石の破砕について  
 14.15~14.40 A-11 奈川渡ダムの断層処理工事について  
 14.40~15.00 討 議 (A-8~A-11)  
 15.00~15.25 A-12 害掘山地下発電所における測定について  
 15.25~15.50 A-13 地下における探掘が周辺の地下空洞におよぼす地圧と変形について  
 15.50~16.15 A-14 ウォールマイヤートネルボーリングマシンによる青函トンネルの掘削(仮題)  
 16.15~16.35 討 議 (A-12~A-14)  
 16.35~16.40 閉会あいさつ

日本材料学会岩石力学部門委員会委員長 飯田収事

6. 参加申込要領：

- (1) 申込期限：10月31日
- (2) 大きさ：B5以下適宜用紙に「第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)参加申込」と必ず明記し、参加者氏名、勤務先、連絡先、所属学会を記載し、参加費(現金または為替)をそえて、土木学会(幹事学会)にお申込み下さい。
- (3) 申込先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内 岩の力学シンポジウム係
- (4) お申込み入金のある次第、参加券および講演集引換券をお送りいたします。なお、原則として参加申込みの取消しがあっても参加費の払いもどしはいたしませんのでご了承下さい。
- (5) 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切りますからなるべく早目にお申込み下さい。

7. 懇親会：会期中下記により懇親会を開催いたしますから、参加ご希望の方は、会費を添えてシンポジウム参加申込みと同様にお申込み下さい。ただし、申込み順に受付満員になり次第締切ります。

- (1) 日時：11月28日(火) 18.00~20.00
- (2) 会場：土木学会会議室
- (3) 会費：1000円
- (4) 定員：50名

## 第2回土木計画学シンポジウム

◀ 11月21日(火)~22日(水) ▶

土木学会土木計画学研究委員会は、本年1月に第1回シンポジウムを開催、多数の参加者を得て非常な好評を得ました。本委員会は、当初から年に2~3回のシンポジウムを開催する予定であり、第1回シンポジウム参加者もまた、さらに何回かのシンポジウムを継続して問題点の追究を深めることを強く要望しています。

ここに、第2回土木計画学シンポジウムを下記要領により開催し、土木計画のあり方と理念について、ともに考えることとしました。

第1回のシンポジウムは全く最初の試みでもあったし、土木計画学の範囲と考えられる分野を、いわば浅く広くとらえようとした。したがって、各テーマについては突込みが不十分であったことは否めません。

第2回以後は、徐々に問題点を深く追究したいと考えています。しかし、本委員会としては土木計画に含まれる個々のテーマの追求よりは、むしろ総括的に捉えようとしています。

そこで今回は、水資源計画、交通計画、都市計画、地域計画を例にとって、それぞれに共通すると思われる計画上の基礎概念を、土木計画学としての共通の場で検討しようと試みました。

第2回シンポジウムにおいては具体的には (1) 需要予測と計画目標設定の問題 (2) 計画決定に際し、合目的性を追求するための評価基準の問題を考えてみたいと思います。

会員諸氏が、前回と同様ふるって参加されるようご案内いたします。

本委員会としては、今後も引続きシンポジウムを続け、また計画学に関連する講習会などを開くことも検討中です。

- (1) 期 日：11月21日(火)、22日(水)の両日
- (2) 会 場：銀座ガスホール(東京都中央区銀座7-1・電話 571-4873)
- (3) 参加費：1500円(会員外 2000円)
- (4) 申込方法：下記用紙に必要事項をご記入のうえ、10月31日(火)までに土木学会事務局編集課宛参加費を添えて現金書留便で申込んで下さい。
- (5) 日 程：11月21日(火)

開会あいさつ 9:30~9:40  
第I部 水資源計画 9:40~12:00

第II部 交通計画 13:00~17:00

土木計画学委員会委員長 鈴木 雅 次  
<司 会> 東京大学助教授 高 橋 裕  
水資源開発公団計画部計画課長 佐々木 和 彦  
建設省河川局河川計画課課長補佐 北 野 幸

<司 会> 北海道大学教授 小 川 博 三  
日本国有鉄道監察委員 立 花 文 勝  
日本道路公団東京支社工事部長 星 野 哲 三  
京都大学教授 長 尾 義 三  
東京大学助教授 新 谷 洋 二  
岐阜大学教授 加 藤 晃

11月22日(水)

第三部 都市計画・地域計画 9:30~12:00

<司会> 東京大学教授 井上 孝  
名古屋大学教授 毛利 正光  
運輸省港湾局計画課長 竹内 良夫  
建設省都市局街路課課長補佐 渡部 与四郎

第四部 土木計画の目的に関する総括討論 13:00~14:30

<司会> 東京大学教授 八十島 義之助  
東京大学助教授 高橋 裕  
北海道大学教授 小川 博三  
東京大学教授 井上 孝  
京都大学教授 米谷 栄二

第五部 総括討論のまとめ 14:30~14:50

京都大学教授 米谷 栄二

閉会のあいさつ 14:50~15:00

土木計画学研究委員会委員 石原 藤次郎

.....(切 取 線).....

第2回土木計画学シンポジウムに参加するので、参加費を添えて申込みます。

住 所					
氏 名		電 話	勤務先 自 宅		
役 職 名					
備 考	1. 官 費	2. 社 費	3. 私 費	1. 会 員	2. 会 員 外

昭和 42 年 月 日

土木学会 御 中

## 北海道支部行事案内 (札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階・電話 札幌 25-7038)

### 研究発表会 論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会(2月下旬)に発表の論文または報文をつぎの要領で募集いたします。

1. 発 表: 北海道支部刊行の研究発表会論文集第24号に本印刷掲載
2. 内 容: 土木技術論文・工事報告文
3. 応募方法: 応募者は、発表題名・所属・氏名を支部事務局へ口頭・電話・郵便でお申込みのこと。ただちに原稿執筆要領所定の原稿用紙を送付する。
4. 原稿締切: 11月下旬
5. 支部奨励賞: 特にすぐれたものには、支部奨励賞として賞金1万円・賞状・メダルを贈り表彰する。

## 東北支部行事案内(仙台市北3番丁124 建設省東北地方建設局企画室内・電話 仙台 25-2171)

### 支部設立30周年記念式典および記念講演会

◀ 11月10日(金) ▶

東北支部は設立30周年を迎えましたので、下記のような記念行事を仙台市において行ないます。ふるってご参加下さい。

1. 期 日: 1967年11月10日(金)
2. 場 所: 宮城県民会館6階第2会議室(仙台市定禅寺通櫓丁48)
3. 行事次第:
  - ① 記念式典 10.30~12.00 支部長式辞/来賓祝詞/感謝状および表彰状贈呈
  - ② 記念講演 13.00~14.00 学 会 と 私 土木学会副会長・東京大学教授 最上 武雄
  - 14.00~15.00 地域開発と計画の科学 前経済企画庁総合開発局長 加納 治郎
  - 15.10~16.00 映画——東北における建設工事——
  - 16.00~17.00 未 定



関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電話 東京 351-4133)

(1) 映画会

◀ 8月28日(月) 13.00~ ▶

8月の映画会は、宇都宮市で開催いたします。多数ご参加下さい。

1. 場 所：栃木会館小ホール (宇都宮市埴田町 357 電話 宇都宮 2-8211)
2. 参 加 費：無 料
3. 上 映 映 画：① 名神高速道路 (日本道路公団企画)  
② 天草にかける (住友建設株式会社企画)  
③ よみがえる川 (群馬県企業局企画)

(2) 構造物の基礎に関する講習会

◀ 10月12日(木)~13日(金) ▶

構造物の基礎に関する技術は、基礎が不明確な地盤に接しているために、きわめて複雑で、まだ多くの未解決点を残しています。

すべての上部構造は、この基礎の上に建設されるわけですから、上部構造の設計者といえども、基礎に対する理解なしに、設計することはできません。

この講習会では、最近の基礎に関する調査、設計および施工上の諸問題について、直接実務を担当している各講師が、重点的に解説いたしますので、基礎の技術者はもちろん上部構造の技術者の方々も、ふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年10月12日(木)、13日(金)の2日間
2. 場 所：ヤマハホール (東京都中央区銀座 7-1・電話 東京 572-3111)
3. 定 員：500名
4. 参 加 費：2000円 (テキスト代を含む)

5. プログラム：

第1日(10月12日)

- |             |                          |                    |
|-------------|--------------------------|--------------------|
| 9.20~9.30   | あいさつ                     |                    |
| 9.30~10.20  | (1) 鉄道橋基礎の設計             | 土木学会関東支部長          |
| 10.30~11.20 | (2) 道路橋基礎設計の考え方          | 国鉄構造物設計事務所 田村 浩一   |
| 11.30~12.20 | (3) 基礎の地盤調査              | 東京都建設局 鈴木 俊男       |
| 13.20~14.10 | (4) 鋼杭基礎の設計施工上の問題点       | 東海大学工学部 宇都 一馬      |
| 14.20~15.10 | (5) 既成コンクリートぐいの設計施工上の問題点 | 日本鋼管(株)加工製品部 吉村 元宏 |
| 15.20~16.10 | (6) 場所打ぐいの設計施工上の問題点      | 首都高速道路公団工務部 岡田 哲夫  |
|             |                          | 国鉄建設局 片瀬 貴文        |

第2日(10月13日)

- |             |                      |                   |
|-------------|----------------------|-------------------|
| 9.30~10.20  | (7) 直接基礎の安定          | 建設省土木研究所 駒田 敬一    |
| 10.30~11.20 | (8) ケーソン基礎の問題点       | 東京都建設局 青木 重雄      |
| 11.30~12.20 | (9) 仮設橋の設計施工上の問題点    | 首都高速道路公団工務部 玉野 治光 |
| 13.20~14.10 | (10) 河川工作物(橋梁)の設置基準  | 建設省河川局 縄田 照美      |
| 14.20~15.10 | (11) 新幹線軟弱地盤上の構造物の基礎 | 国鉄構造物設計事務所 池田 俊雄  |
| 15.20~16.10 | (12) 長大吊橋の基礎         | 建計省土木研究所 吉田 巖     |

6. 申 込 方 法：後記行事参加申込方法参照。

7. 見 学 会：この講習会につづく見学会として(3)の中央高速道路見学会を行ないます。この講習会参加者を優先受付いたします。

(3) 中央高速道路見学会

◀ 10月14日(土) 9.00~17.30 ▶

構造物の基礎に関する講習会につづく中央高速道路の見学会を行ないます。(2)の講習会参加者は優先受付いたします。

1. 定 員：100名
2. 参 加 費：400円 (昼食代を含む)
3. 集 合：10月14日(土) 9.00 土木学会
4. 見 学 場 所：調布 インターチェンジ・府中インターチェンジ・八王子 インターチェンジ・小仏トンネル・底沢橋・相模湖 インターチェンジ・吉野橋・境川橋・鶴川橋
5. 解 散：10月14日(土) 17.30 国鉄中央線八王子駅前
6. 申 込 方 法：後記行事参加申込方法参照。

(4) 新しい測定技術—写真測量を中心として—講習会 ◀ 10月17日(火)~18日(水) ▶

写真測量を中心とした新しい測定技術の講習会を、写真測量学会と共催で開催いたします。最近の写真測量技術の発達は素晴らしいもので、プログラムでおわかりのように非常に広範囲の応用面があります。興味のある方はどなたでも、ぜひふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年10月17日(火)、18日(水)の2日間
2. 場 所：日本化学会講堂(千代田区神田駿河台1-5、国電または地下鉄お茶の水駅下車、明治大学大学院西となり)
3. 定 員：150名
4. 参 加 費：1500円(テキスト代を含む)
5. プログラム：
 

第1日(10月17日)	
9.30~9.40	あいさつ
9.45~11.45 (1)	写真測量の概要
12.45~14.15 (2)	写真測量による精密測定
14.25~15.55 (3)	写真測量の仕様と検査
16.00~17.00 (4)	新しい測量機械-1. レーザーの利用
第2日(10月18日)	
9.30~10.30 (5)	新しい測量機械-2. 光波の利用
10.40~11.40 (6)	新しい測量機械-3. 電波の利用
13.00~14.30 (7)	写真測量の土木設計への応用
14.40~16.10 (8)	写真の判読とその応用
6. 申 込 方 法：後記行事参加申込方法参照

(5) 東名高速道路見学会—秋のエキスカレーション— ◀ 11月21日(火)~22日(水) ▶

本部と共催、本部会告をご覧下さい。(本誌2ページ)

(行事参加申込方法)

1. 適宜の用紙に、行事の名称、参加者の氏名と勤務先、参加券・領収書の送り先を明記して下さい。
2. 参加費を1.と一緒に送して下さい(現金書留が便利です)。
3. 送り先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会関東支部
4. 各行事とも満員になり次第締切りますから、早くお申し込み下さい。

(関東支部発行図書)

「舗装」 B5版活版 95ページ 41.11.10発行 定価700円(〒50円)残部僅少あります。

中部支部行事案内 (名古屋市東区東新町10-1 中部電力(株)水力部土木課内)  
電話 名古屋(052)951-8211 内線 3430

(1) 名四国道工事見学会 ◀ 9月22日(金) ▶

1. 定 員：100名
2. 集 合：名古屋市栄 テレビ塔下 9時
3. 行 程：テレビ塔下 出発9時10分—鍋田海岸堤防、高瀬防波堤—名四国道西部路線工事(市内高架、インターチェンジ)—東部路線工事(盛土、舗装、インターチェンジ、東海道本線跨線橋)—テレビ塔着 解散16時30分
4. 会 費：200円
5. 申 込 み：9月19日(火)まで中部支部へお申込み下さい。

(2) コンクリート標準示方書改訂にともなう講習会 ◀ 9月29日(金) ▶

1. 定 員：300名
2. 場 所：中電ホール 名古屋市東区東新町10-1
3. 会 費：会員 1000円 一般 1500円
4. テキスト：コンクリート標準示方書、解説、昭和42年度夏期講習会資料(希望者のみ実費頒布)

5. 申込方法：9月27日（水）まで中部支部あて会費を添えてお申込みください。

6. プログラム：

9.00～9.10	開会 あいさつ	支部長 渡部 時也
9.10～9.40	コンクリート標準示方書改訂にあたって	京大 岡田 清
9.40～11.00	無筋コンクリート標準示方書	岐阜大 大浜 文彦
11.00～12.00	コンクリート舗装標準示方書	建設省 未 定
13.00～14.50	鉄筋コンクリート標準示方書	金沢大 柳 場 重正
14.50～16.20	ダムコンクリート標準示方書	電研 関 慎吾
16.20～16.30	閉会 あいさつ	幹事長 奥 村 徳太郎

コンクリート標準示方書改訂にともなう講習会申込書	
参加者氏名	
勤務先	
連絡先	
会費	1000円 } を現金書留で同封のうえ送る。また他の方法 1500円 }
テキスト（示方書）	要 不 要

**(3) 最近のシステム技術に関する講習会**

◀ 8月29日(火)～31日(木) ▶

1. 定 員：200名
2. 場 所：名古屋市科学館ホール 名古屋市中区栄2の17
3. 会 費：会員 2500円 一般 3000円 学生 1500円
4. 主 共 催：電気学会東海支部主催・土木学会中部支部、ほか6学（協）会共催
5. 申込方法：住所・氏名・所属学会を書き会費をそえて下記へお申込み下さい。  
名古屋市中種区不老町 名古屋大学工学部電気教室内 電気学会東海支部

6. プログラム：

第1日・8月29日（火）	
9.55	開会のあいさつ
10.00～11.45	システム工学概論 東大 猪 瀬 博
12.45～14.30	システムと電子計算機 *京大 坂 井 利之
14.45～16.00	通信事業におけるシステム 電電公社 島 田 博一
16.10～17.25	国鉄におけるシステム 鉄道技研 大 野 豊
第2日・8月30日（水）	
10.00～11.45	企業体におけるシステム化 *松下電産 唐 津 一
12.45～14.30	システム運用の理論 名大 福 村 晃夫
14.45～16.00	電気事業におけるシステムの運用 中部電力 千 葉 明磨
16.10～17.25	生産システムの特性分析と原価低減への活用 名工大 熊 谷 智徳
第3日・8月31日（木）	
10.00～11.45	システム制御の理論 東工大 深 尾 毅
13.00～14.15	プロセスプラントにおける応用について 千代田化工建設 宮 崎 誠一
14.30～15.45	宇宙工学におけるシステム 航空宇宙技研 山 内 正男
16.00～17.15	土木事業におけるシステム工学 名大 河 上 省吾

\* 交渉中講師

7. テキストの販売：テキストのみ入手を希望される方は、代金 700円（含送料）をそえ申し込むこと（A4版、オフセット 120～150 ページの予定）

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地  
電話 大阪 (06) 981-2510 振替口座 大阪 82599 番)

関西支部年次学術講演会 (昭和 42 年度)

◀ 11 月 12 日 (日) 9.00~ ▶

1. 日 時: 1967 年 11 月 12 日 (日) 9.00~17.00  
2. 場 所: 未 定

場所, プログラム, 講演概要の頒価およびその他の事項については学会誌 10 月号に登載の予定です。講演ご希望の方はつぎの講演申込要領をご覧のうえお申込み下さい。

年次学術講演会申込要領

- (1) 講演申込方法: 講演希望者は申込カード(4枚複写綴)に部門, 題目, スライドの有無, 勤務先, 会員種別, 学位, 氏名(連名の時は講演者に○印をつける), 卒業学校名および年次, 連絡先を明記のうえ, 8月15日(火)までに土木学会関西支部へ必着するよう提出して下さい。申込みカードは関西支部へ請求して下さい。
- (2) 講演内容: 講演は未発表のもので原則として1人1題にかぎります。
- (3) 講演時間: 1題につき15分の予定です。
- (4) 講演部門: つぎの4部門に分けられますが, 都合により講演者の了承を得たうえで部門を変更させていただくことがあります。
- 第1部門: 応用力学, 構造力学, 橋梁等  
第2部門: 水理学, 水文学, 河川, 港湾, 海岸, 発電水力, 衛生工学等  
第3部門: 土質力学, 基礎工学, 土木機械, 施工等  
第4部門: 鉄道, 道路, コンクリートおよび鉄筋コンクリート, 土木材料, 都市計画, 空港, 測量等
- (6) 原稿提出要領: 講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。
- 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますから, 必ず所定の用紙をご使用下さい。
  - 用紙は執筆要領(原稿の書き方)とともに講演申込者に関西支部からお渡します。
  - 原稿は9月14日(木)(期限厳守)までに関西支部へ必着するようお送り下さい。
  - 原稿の長さは1題目につき2ページ(図, 表, 写真を含め1ページ1480字詰)を原則とします。超過する場合は2ページまで, 1ページにつき1000円の製版料を申受けます。
- (6) 講演概要: 講演者(○印)には無料, 一般は有料, 別刷は講演者(○印)には30部無料で差し上げますが, それ以外の取扱いはいたしません。

(付) テキスト代改正についてお知らせ

	改訂頒価	送料
セメントコンクリート	225 円	80 円
溶接構造	200 円	80 円
建設工事と高分子材料	200 円	60 円
水理公式集の解説と例題	275 円	80 円

以上テキストご希望の方は頒価に送料を添えて, 土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

図 書 案 内

コンクリート標準示方書	B 6 判 438 ページ	定価: 1000 円	会員特価: 800 円
コンクリート標準示方書解説	A 5 判 356 ページ	定価: 1300 円	会員特価: 1000 円
人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)	B 6 判 53 ページ	定価: 300 円	会員特価: 250 円
プレパックドコンクリート施工指針(案)	B 6 判 38 ページ	定価: 220 円	会員特価: 180 円
夏期講習会資料	B 5 判 128 ページ	定価: 900 円	会員特価: 700 円